

平成30年度 通訳ボランティア・スキルアップ講座 チェックリスト

応募者氏名：

【チェックリストの目的】
 この表は、あなたの現在の語学力が、この講座の受講に適しているかを判断する目安となるものです。
 (このチェックで、概ね6個以上チェックがつかなかった方は、講座についてゆくのが難しいかもしれません。)

【チェックをしてみましょう】
 それではチェックをしてみましょう。下の表をご覧ください。※表中の質問として出てくる「英語」については、英語受講希望者以外は、受講したい講座の言語（例えば中国語）に読み替えて回答してください。あなたの母語が日本語でない方は、「英語」の箇所を「日本語」で読み替えて回答して下さい。

まず、質問1の、最も易しいレベル、B1.1の欄の質問を読みましょう。「外国の行事や習慣などに～理解することができる。」とありますね。あなたが受講を希望する言語の現在の語学力で、これができれば、すぐ下のチェック1欄にチェックを入れましょう。

続いて右隣の、同じ質問1の、B1.2の質問を読みます。これができれば、すぐ下のチェック2欄にチェックを入れてください。同様にチェック3～6と右へ進んでいき、できない質問が出てきたら、チェックをしないで、そこで質問1は完了です。下段の質問2の、B1.1へ移り、これができればチェック7欄にチェックを入れましょう。悩ましい質問があるかもしれませんが、概ねできればチェックをつけましょう。質問6（チェック30欄）で完了です。（全部できればチェックの数は30個となります。）

＜ご注意ください！＞

質問は、必ずB1.1から始めるようにしてください。例えば、C2ができる方は、B1.1～C1はできるはずですので、B1.1～C1についても、忘れずにチェック欄にチェックを入れましょう。（つけ忘れますと、最終的にチェックの数が減ってしまい、正しく審査できませんので、ご注意ください。）



レベル (CEFR-J)		B1.1	B1.2	B2.1	B2.2	C1	C2
聞くこと	質問1	外国の行事や習慣などに関する説明の概要を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	自然な速さの録音や放送（天気予報や空港のアナウンスなど）を聞いて、自分に関心のある、具体的な情報の大部分を聞き取ることができる。	自然な速さの標準的な英語で話されていれば、テレビ番組や映画の母語話者同士の会話の要点を理解できる。	非母語話者への配慮としての言語的な調整がなされていなくても、母語話者同士の多様な会話の流れ（テレビ、映画など）についていくことができる。	構成が明瞭ではなく、事柄の関係性が暗示されているだけで明示的になっていないときでも、長い話を理解できる。また、特別に努力しなくてもテレビ番組や映画を理解することができる。	生であれ、放送されたものであれ、母語話者の速いスピードの発話でも、話し方の癖に慣れる時間の余裕があれば、どんな種類の話し言葉も難無く理解することができる。
	チェック記入欄	<input type="checkbox"/> チェック 1	<input type="checkbox"/> チェック 2	<input type="checkbox"/> チェック 3	<input type="checkbox"/> チェック 4	<input type="checkbox"/> チェック 5	<input type="checkbox"/> チェック 6
読むこと	質問2	自分の周りで話されている少し長めの議論でも、はっきりとなじみのある発音であれば、その要点を理解することができる。	はっきりとなじみのある発音で話されれば、身近なトピックの短いラジオニュースなどを聞いて、要点を理解することができる。	トピックが身近であれば、長い話や複雑な議論の流れを理解することができる。	自然な速さで標準的な発音の英語で話されていれば、現代社会や専門分野のトピックについて、話者の意図を理解することができる。	/	
	チェック記入欄	<input type="checkbox"/> チェック 7	<input type="checkbox"/> チェック 8	<input type="checkbox"/> チェック 9	<input type="checkbox"/> チェック 10	/	
読むこと	質問3	学習を目的として書かれた新聞や雑誌の記事の要点を理解することができる。	インターネットや参考図書などを調べて、文章の構成を意識しながら、学業や仕事に関係ある情報を手に入れることができる。必要であれば時に辞書を用いて、図表と関連づけながら理解することができる。	現代の問題など一般の関心の高いトピックを扱った文章を、辞書を使わずに読み、複数の視点の相違点や共通点を比較しながら読むことができる。	記事やレポートなどのやや複雑な文章を一読し、文章の重要度を判断することができる。綿密な読みが必要と判断した場合は、読む速さや読み方を変えて、正確に読むことができる。	長い複雑な事実に基づくテキストや文学テキストを、文体の違いを認識しながら理解できる。自分の関連外分野での専門の記事や長い技術的説明書も理解できる。	抽象的で、構造的にも言語的にも複雑な文章、例えばマニュアル・専門の記事・文学作品のテキストなど、事実上あらゆる形式で書かれた英文を容易に読むことができる。
	チェック記入欄	<input type="checkbox"/> チェック 11	<input type="checkbox"/> チェック 12	<input type="checkbox"/> チェック 13	<input type="checkbox"/> チェック 14	<input type="checkbox"/> チェック 15	<input type="checkbox"/> チェック 16

	質問4	ゲームのやり方、申込書の記入のしかた、ものの組み立て方など、簡潔に書かれた手順を理解することができる。	平易な英語で書かれた長めの物語の筋を理解することができる。	難しい部分を読み返すことができれば、自分の専門分野の報告書・仕様書・操作マニュアルなどを、詳細に理解することができる。	自分の専門分野の論文や資料から、辞書を使わずに、必要な情報や論点を読み取ることができる。			
	チェック記入欄	<input type="checkbox"/> チェック 17	<input type="checkbox"/> チェック 18	<input type="checkbox"/> チェック 19	<input type="checkbox"/> チェック 20			
話すこと	やりとり	質問5	身近なトピック（学校・趣味・将来の希望）について、簡単な英語を幅広く使って意見を表明し、情報を交換することができる。	病院や市役所といった場所において、詳細にまた自信を持って、問題を説明することができる。関連する詳細な情報を提供して、その結果として正しい処置を受けることができる。	ある程度なじみのあるトピックならば、新聞・インターネットで読んだり、テレビで見たニュースの要点について議論することができる。	一般的な分野から、文化、学術などの、専門的な分野まで、幅広いトピックの会話に積極的に参加し、自分の考えを正確かつ流暢に表現することができる。	言葉をことさら探さずに流暢に自然に自己表現ができる。社会上、仕事上の目的に合った言葉遣いが、意のままに効果的にできる。自分の考えや意見を正確に表現でき、自分の発言を他の話し手の発言にうまくあわせることができる。	いかなる会話や議論でも無理なくこなすことができ、慣用表現、口語体表現をよく知っている。自分を流暢に表現し、細かい意味のニュアンスを正確に伝えることができる。表現上の困難に出会っても、周りの人に気づかれぬように修正し、うまく繕うことができる。
	チェック記入欄	<input type="checkbox"/> チェック 21	<input type="checkbox"/> チェック 22	<input type="checkbox"/> チェック 23	<input type="checkbox"/> チェック 24	<input type="checkbox"/> チェック 25	<input type="checkbox"/> チェック 26	
	質問6	個人的に関心のある具体的なトピックについて、簡単な英語を多様に用いて、社交的な会話を続けることができる。	駅や店などの一般的な場所などで、間違った切符の購入などといったサービスに関する誤りなどの問題を、自信を持って詳しく説明することができる。相手が協力的であれば、丁寧に依頼したり、お礼を言って、正しいものやサービスを受けることができる。	母語話者同士の議論に加われないこともあるが、自分が学んだトピックや自分の興味や経験の範囲内のトピックなら、抽象的なトピックであっても、議論できる。	幅広い慣用表現を使って、雑誌記事に対して意見を交換することができる。			
	チェック記入欄	<input type="checkbox"/> チェック 27	<input type="checkbox"/> チェック 28	<input type="checkbox"/> チェック 29	<input type="checkbox"/> チェック 30			

【チェックが終わったら】

お疲れさまでした。結果はいかがでしたか？ チェックの数を数えて、申込書に記入しましょう。

このチェックリストは、③申込書と一緒に千葉市国際交流協会へ提出してください。

どうもありがとうございました。

当チェックリストは、CEFR-Jを管理している東京外国語大学野由紀夫研究室の許諾を得て、一部を抜粋して作成いたしました。
(ダウンロード先URL) <http://www.cefr-j.org/index.html> (VERSION: 日本語版1.1)